

# 入力専用ライセンスの使い方

ネット認証を解除した状態、またはUSBプロテクトを装着しない状態でEX-TREND武蔵を使うためには、「入力専用ライセンス」を使用します。

ただし「入力専用ライセンス」でプログラムが動作している時には、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。



入力専用ライセンス  
(起動すると画面左下に表示)

## 「入力専用ライセンス」の起動方法

- ネット認証ライセンス(占有)(共有)をお使いのお客様は、プロダクトIDを解除しておいてください。
- USBプロテクト【JSP-R】をお使いのお客様は、USBプロテクトをコンピューターから外しておいてください。
- プログラムの起動前に、以下の手順で「入力専用ライセンス」を起動してください。

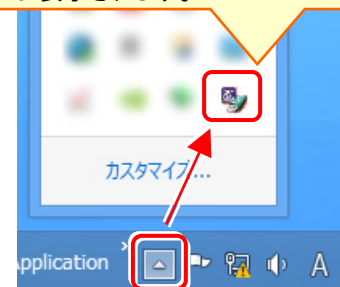
デスクトップに作成された  
[入力専用ライセンス]アイコン  
をダブルクリックして起動します。



起動中は、画面左下(※)に  
[入力専用ライセンス]アイコン  
が表示されます。



右下の通知領域にも  
[入力専用ライセンス]アイコン  
が表示されます。

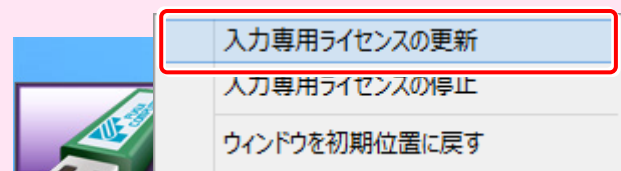


※ [入力専用ライセンス]アイコンは、ドラッグで任意の位置に移動できます。次回起動時には、移動した位置に表示されます。

**注意**

### 入力専用ライセンス 注意事項

- 「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」と、「入力専用ライセンス」の同時利用は出来ません。「入力専用ライセンス」が起動されている場合は、「入力専用ライセンス」が優先されます。
- バージョンアップやプログラム追加などで、ネット認証ライセンスの更新やUSBプロテクトの書き換えをおこなった場合は、「入力専用ライセンスの更新」が必要です。  
「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューから、「入力専用ライセンスの更新」を実行してください。(右図)



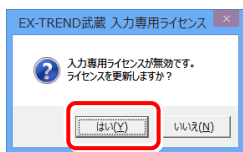
- 「入力専用ライセンス」は、Windowsのログインアカウント毎に設定が必要です。
- 「入力専用ライセンス」で動作している場合、プログラムの[ヘルプ]-[バージョン情報]コマンドで表示される「ユーザーID」の末尾に、(入力専用ライセンス) と表示されます。
- 「Windowsの起動時に自動実行」をオンにすることで、次回ログイン時から自動で「入力専用ライセンス」が起動します。

## 「入力専用ライセンス」の初期設定

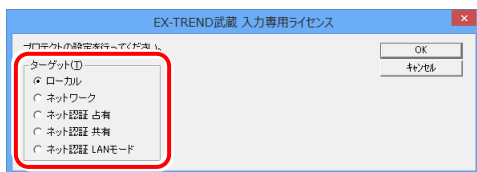
入力専用ライセンスを使用するためには、プロテクト装置(ネット認証ライセンス、USBプロテクト)からライセンス情報を取得しておく必要があります。ライセンス情報の取得時には、コンピューターに取得先のUSBプロテクトを装着した状態(ネット認証の場合は、取得先のプロダクトIDを認証済みの状態)にしておいてください。

入力専用ライセンスを使用すると、ネット認証ライセンスを解除した状態、またはUSBプロテクトを外した状態でも、EX-TREND武蔵シリーズを使用することができます。ただしプログラムは、「入力専用」で動作します。「入力専用」では、各種データのや保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。

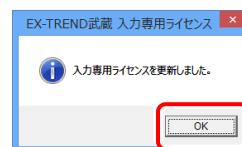
1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



2. [ターゲット]で、使用されているプロテクトの種類を選択して、[OK]を押します。



**ローカル** : USBプロテクト【JSP-R】の場合に選択します。  
**ネットワーク** : USBプロテクト【JSP-LAN-R】の場合に選択します。プロテクトを装着しているサーバー名の入力が必要です。  
**ネット認証 占有** : ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。  
**ネット認証 共有** : ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。  
**ネット認証 LANモード** : ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。ネット認証LANサーバーの、サーバー名の入力が必要です。

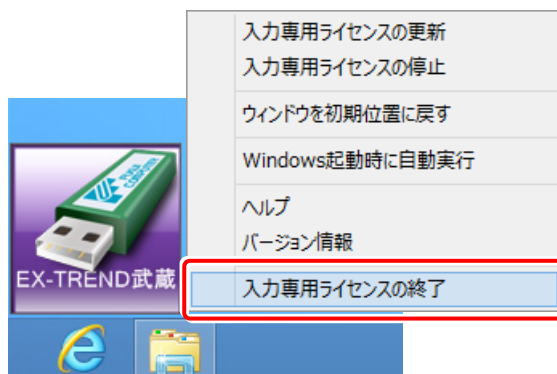


3. ライセンス情報が取得され、デスクトップ左下に、「入力専用ライセンス」が起動します。



4. 入力専用ライセンスは、使用しないときには終了させておきます。起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

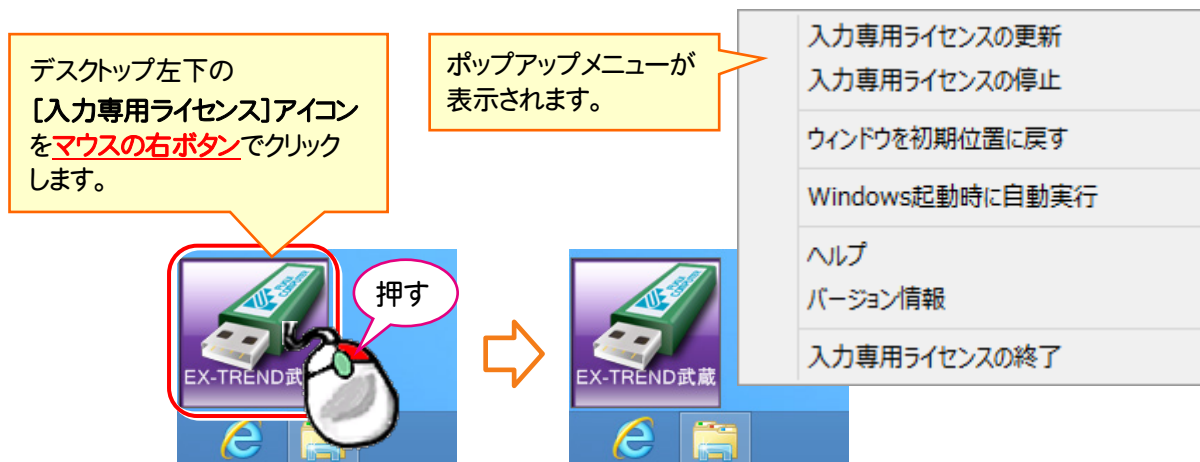
[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの初期設定は完了です。

## 「入力専用ライセンス」の機能

「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューのコマンドについて解説します。

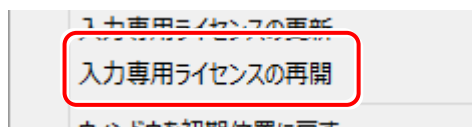


### 【入力専用ライセンスの更新】

「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」から、「入力専用ライセンス」のライセンス情報を更新します。  
バージョンアップやオプションを追加した場合に、実行してください。

### 【入力専用ライセンスの停止】

「入力専用ライセンス」を一時的に停止します。  
再開は、【入力専用ライセンスの再開】で行います。

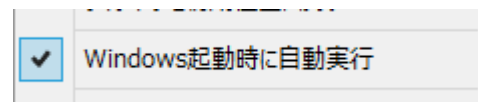


### 【ウインドウを初期位置に戻す】

【入力専用ライセンス】アイコンを初期位置（デスクトップ左下）に戻します。

### 【Windows起動時に自動実行】

「入力専用ライセンス」をWindowsの起動時に自動実行します。  
オンの場合、コマンドの前にチェックマークが表示されます。



オフにするには、もう一度本コマンドを実行します。

### 【ヘルプ】

入力専用ライセンスの解説書 (PDF) を開きます。

### 【バージョン情報】

「入力専用ライセンス」のバージョン情報を表示します。

### 【入力専用ライセンスの終了】

「入力専用ライセンス」を終了します。

## 「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには

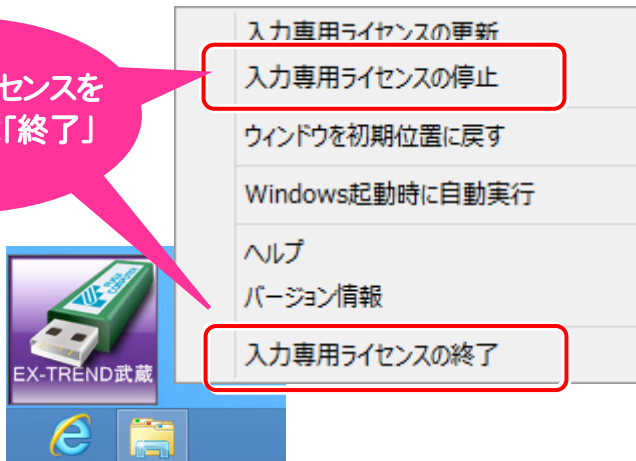
入力専用ライセンスでは各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷や出力などがおこなえません。

以下の手順で入力専用ライセンスを「停止」または「終了」した後、ネット認証ライセンスの認証やUSBプロテクトの装着をおこなって、プログラムを再起動する必要があります。

まず、データを保存して、プログラムを終了します。



入力専用ライセンスを「停止」または「終了」します

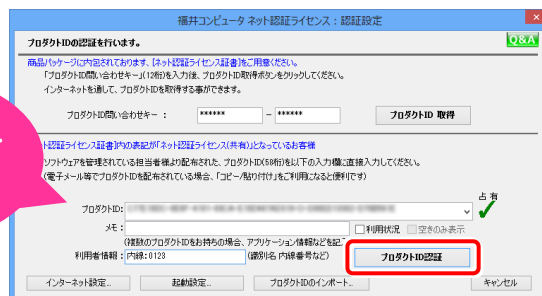


プログラムを再起動します。



入力専用ライセンスの認証設定画面が表示された場合は、プロダクトIDの認証をおこないます。

プロダクトIDを認証します



データを開き、成果物の印刷や出力をおこないます。

「USBプロテクト」をお使いの方は



「JSP-Rプロテクト」(緑色)の場合は、USBプロテクトを装着してから、プログラムを再起動してください。

「JSP-LAN-Rプロテクト」(オレンジ色)の場合は、そのままプログラムを再起動してください。